

経営比較分析表（令和2年度決算）

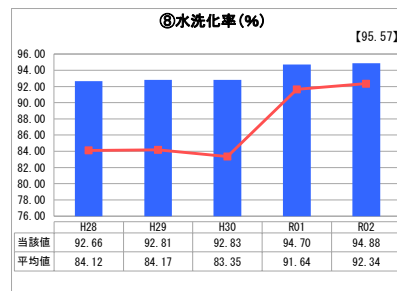
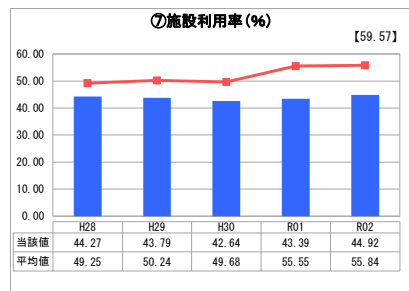
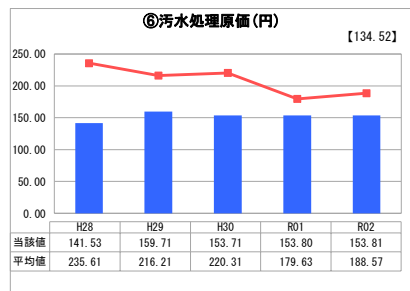
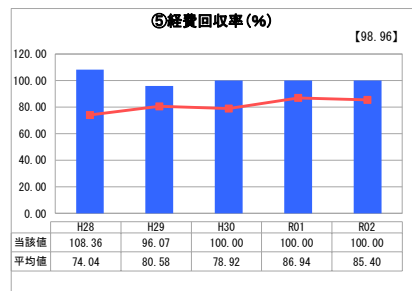
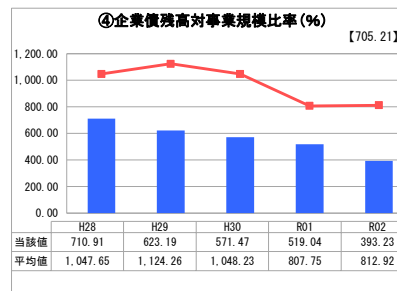
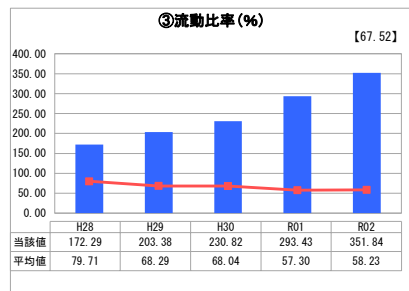
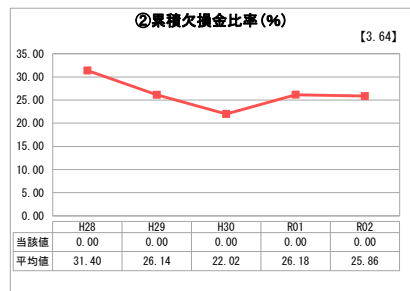
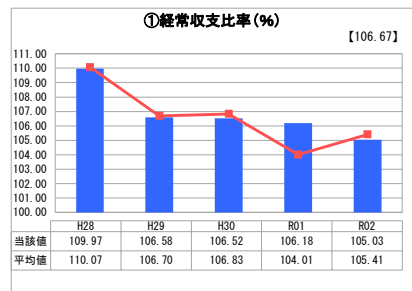
山口県 美祿市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.78	36.52	76.98	3,053

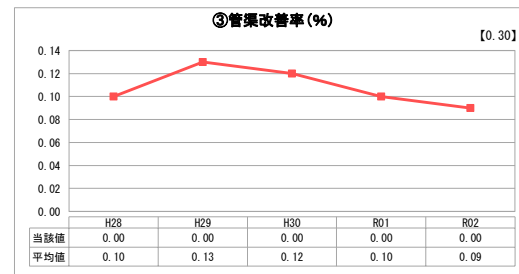
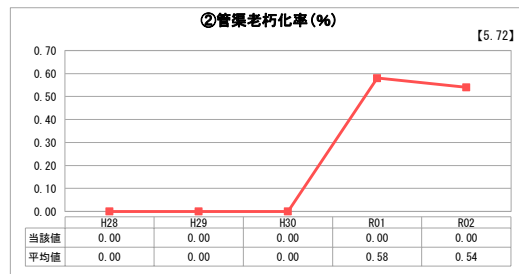
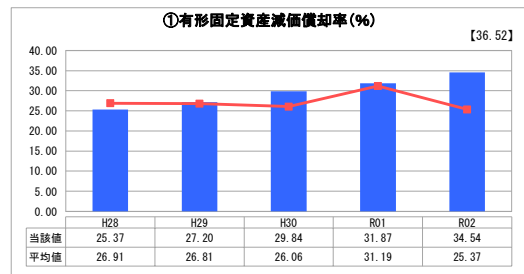
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,375	472.64	49.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,451	6.29	1,343.56

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は、類似団体平均値並に100%を超えて推移しており、事業の効率的運営に努めた結果、剰余を計上している。
 「累積欠損金比率」は、過去5年間に於いて黒字決算となり、累積欠損金は発生していない。
 「流動比率」は、建設改良費や企業債償還金の財源に資金を充当したこと等で資金の増加に伴い年々、比率は改善されている。また、類似団体と比べ高い水準にあるものの、将来の施設更新等を考慮すると今後も資金確保に努める必要がある。
 「企業債残高対事業規模比率」は、類似団体より低い数値となっており、減少傾向で推移しているが、今後は老朽施設の更新が本格化するため、投資規模が過大とならないよう注視し、起債額の平準化に努めていく。
 「経費回収率」は、類似団体と比較しても高い水準を維持しているといえる。
 「汚水処理原価」は、類似団体と比較して低い水準で推移している。
 「施設利用率」は、類似団体平均に比べても低い数値であり、施設の能力に余裕がある一方で、非効率な状態であるともいえる。
 「水洗化率」は、100%となることが望ましいが、年次的に上昇傾向にあり、概ね水質の保全がなされている。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」は、年々比率が高くなっており、施設の老朽化が進んでいることがわかる。可能な限り既存の施設を有効活用しつつ、必要に応じて改築更新を進める必要がある。
 「管渠老朽化率」、「管渠改善率」は、供用開始から30年を経過したため、今後はストックマネジメント計画に基づき、老朽管の更新を行っていく。

全体総括

将来的に使用水量が減少する見込みの中、行政としての責任や危機管理に留意し、経営戦略に基づいた施設・業務の集約化や効率的な運転管理によるコストの削減、工事に要する費用の縮減等を図り、資金確保と安定的な事業運営に努める必要がある。また、ストックマネジメント計画を策定したことにより、今後は計画に基づき、下水道施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図る取り組みを進める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。